

## 広島県立世羅高等学校卒業 沖田和成さん(農事組合法人「穂MINORI」)



### 沖田 和成 (おきた かずなり) さんの紹介

沖田和成さん(21歳)は、広島県立世羅高等学校から広島県立農業技術大学校を経て、平成29年4月に世羅郡世羅町にある農事組合法人「穂MINORI」に就職就農しました。

入社1年目ですが主に約60haの水田の管理をしており、法人の要としてイネの栽培やジャガイモの栽培に取り組んでいます。

### 沖田和成さんの就農までの道

農業高校  
(世羅高等学校)

県立農業技術大学校  
(野菜・花きコース野菜専攻)

就農  
(穂MINORI)

### 農業高校に入学しようと思ったキッカケは？ 農業を仕事にしようと思ったきっかけは？

私の家は専業農家ではありませんが、小さい頃から植物を栽培し、その生育状況を観ることが好きでした。中学の頃から家の畑を与えてもらい自分で耕し、トマトやダイコン、白菜などの野菜を栽培して楽しんでいました。また、将来は、近隣の農園や農業法人に就農したいとも考えていました。

そこで、高校進学を考えたとき植物の栽培について深く学習することができる世羅高等学校農業経営科を選びました。

### 高校や大学校で学んだことは？

農業は、自然の中で命を育む仕事です。自然と共存しつつ農業を営まないと良い具合植物は育たないということを学びました。主に高校と農業技術大学校ではハウスメロンやトマトの栽培・管理について学習しました。栽培中、台風が来たり、うどん粉病やアブラムシなどの病害虫が発生しましたが完全に防除することはできませんでした。この様なことがあり自然と共存し、自然を利用するような農業ができれば良いと感じました。

### 今の仕事の中でやりがいを感じることは？

責任ある仕事を任された時にやりがいを感じます。

私は今年、ジャガイモの栽培を任されました。仕事を任された以上、品質の良いジャガイモを沢山生産し小売店や消費者の方に「おいしい」と喜んでもらえる農作物を生産したいと思っています。



### 就農先の紹介

農事組合法人「穂MINORI」は、平成24年に設立されました。現在6名の常時雇用者がいます。経営面積は、約60haの水田を栽培・管理しており、その他にもタマネギ、ジャガイモ、ダイズの栽培も行っています。

「穂MINORI」は、中国山地の分水嶺がある世羅町に位置し自然に恵まれていることを活かし、おいしく安全な作物作りを目指しています。